



2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年10月28日
株式会社デンソー

1. 第2四半期で生産は回復したが、震災後の大幅減産の影響が残り、上期トータルとしては減収減益

2. 直近の為替動向を踏まえ、通期予想売上を修正

3. 中間配当は前年より1円増加の23円、
年間配当は46円の予定

2012年3月期 第2四半期 連結決算

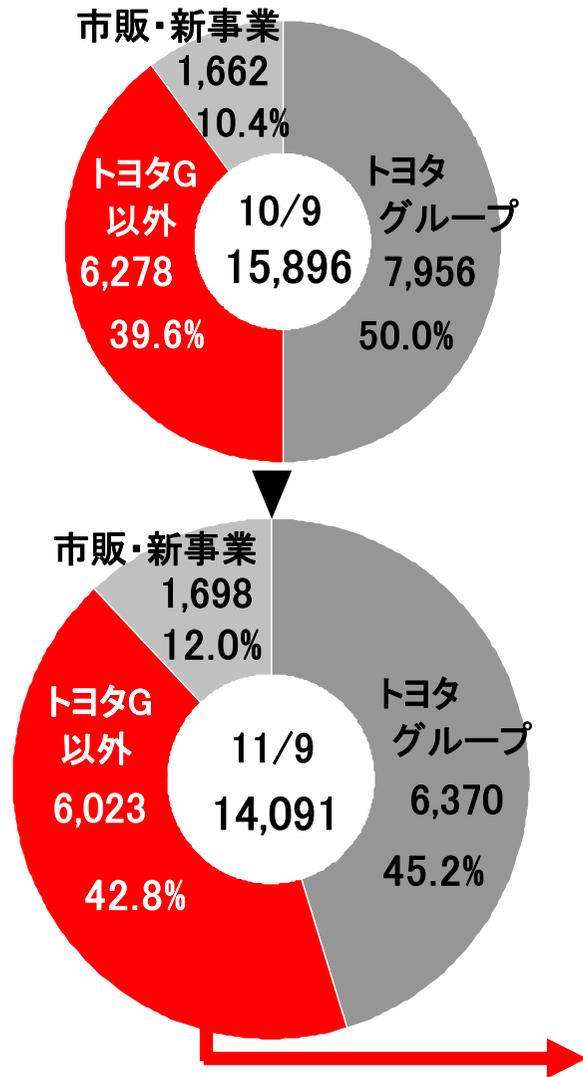
02 / 25

()内は売上高比

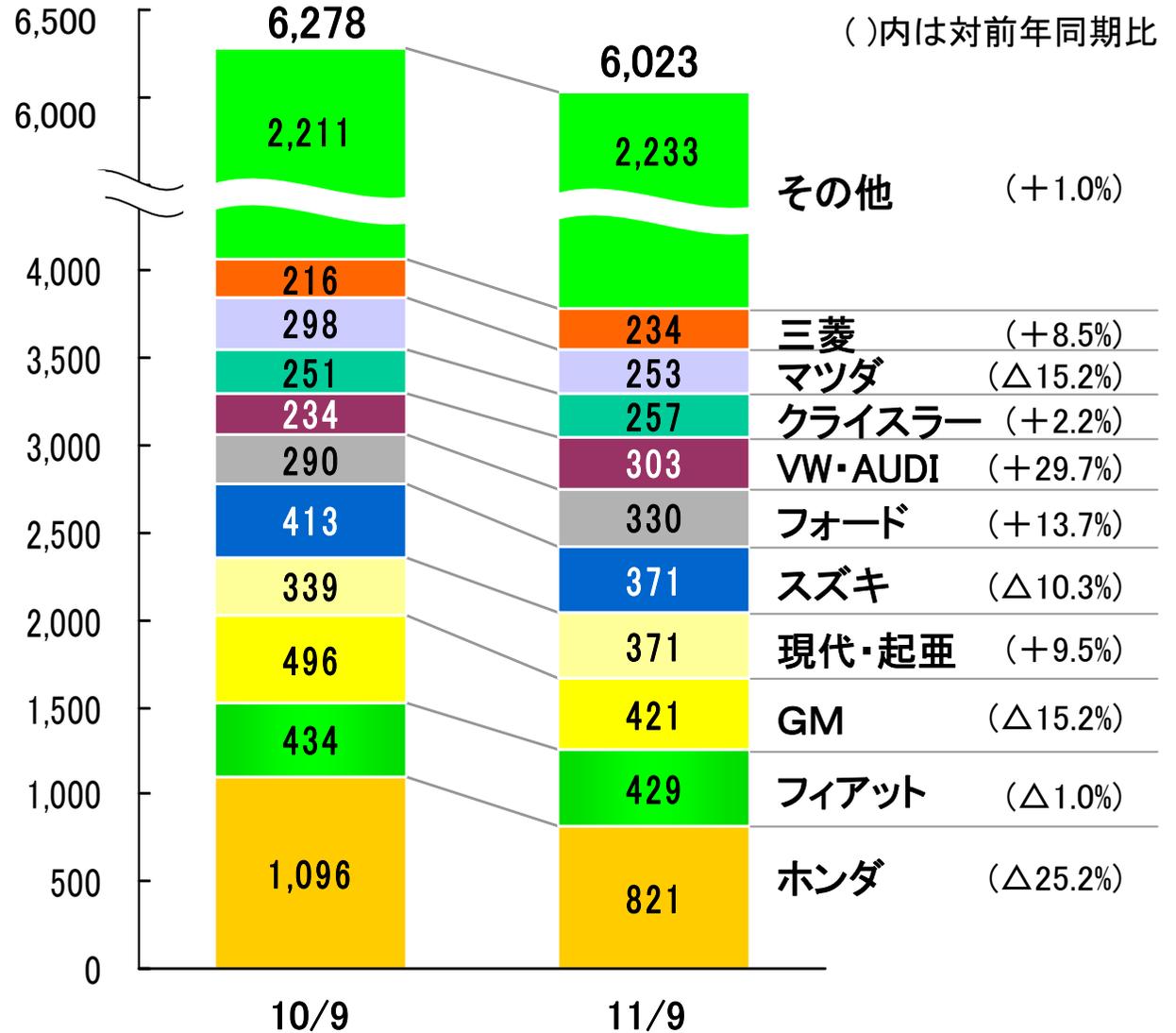
【単位:億円】

	1Q時予想	11/9期実績	10/9期実績	増減額	増減率
売上高	14,200	14,091	15,896	△ 1,804	△ 11.4%
営業利益	(0.7%) 100	(2.3%) 319	(7.8%) 1,243	△ 924	△ 74.4%
経常利益	(1.1%) 150	(2.8%) 393	(8.4%) 1,334	△ 941	△ 70.5%
税引前利益	(1.1%) 150	(2.8%) 393	(8.7%) 1,380	△ 987	△ 71.5%
当期純利益	(0.6%) 90	(1.7%) 233	(5.9%) 937	△ 704	△ 75.2%
為替レート	81円/ドル 116円/ユーロ	80円/ドル 114円/ユーロ	89円/ドル 114円/ユーロ	9円 円高 0円 円高	
国内車両生産	381万台	391万台	478万台	△ 87万台	△ 18.2%
海外日系車生産 (内、北米)	618万台 (154万台)	669万台 (154万台)	642万台 (194万台)	+ 27万台 (△ 40万台)	+ 4.2% (△ 20.6%)

得意先別



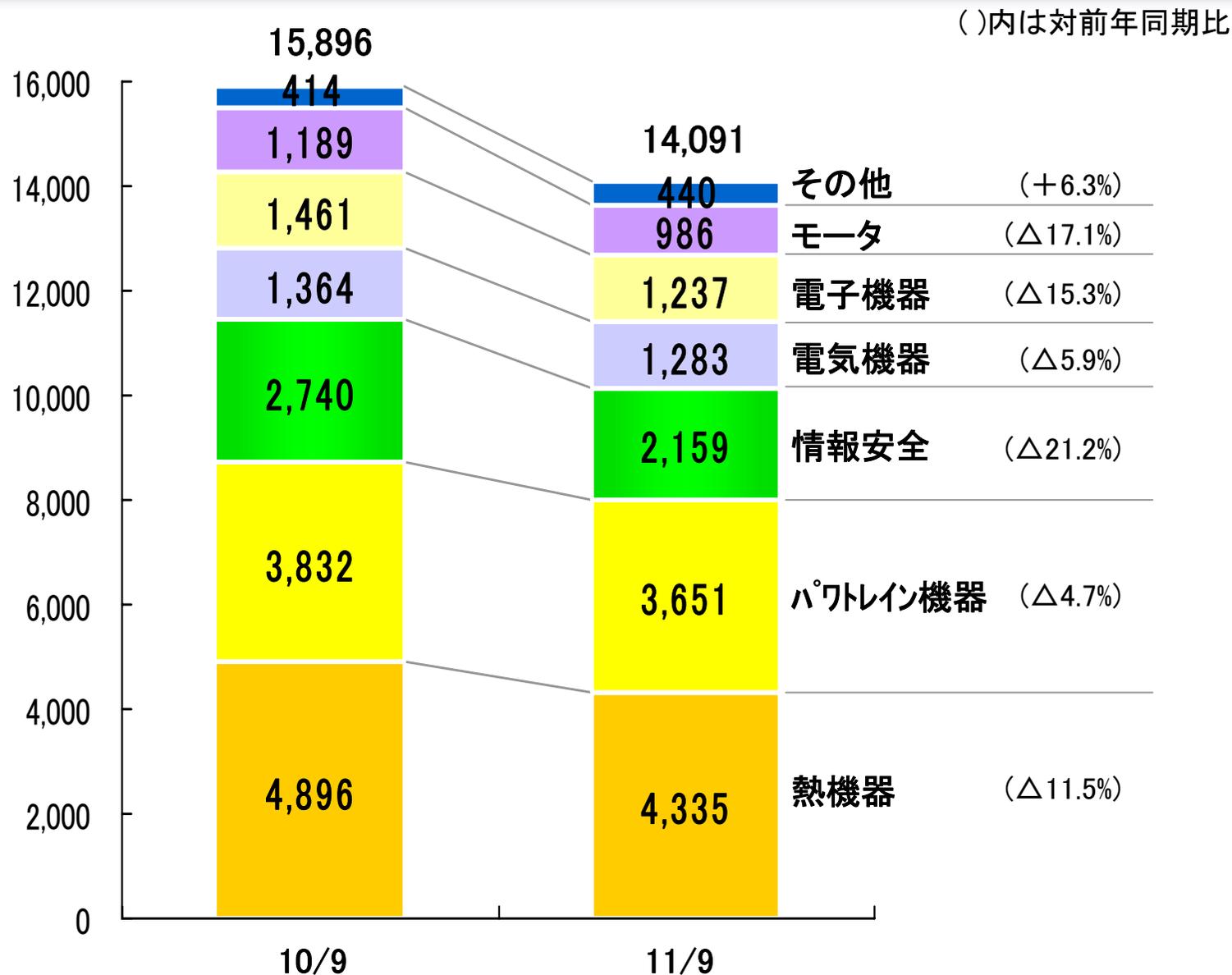
【単位:億円】 トヨタグループ外(OEM) 得意先別売上



2012年3月期 第2四半期 連結売上高増減要因

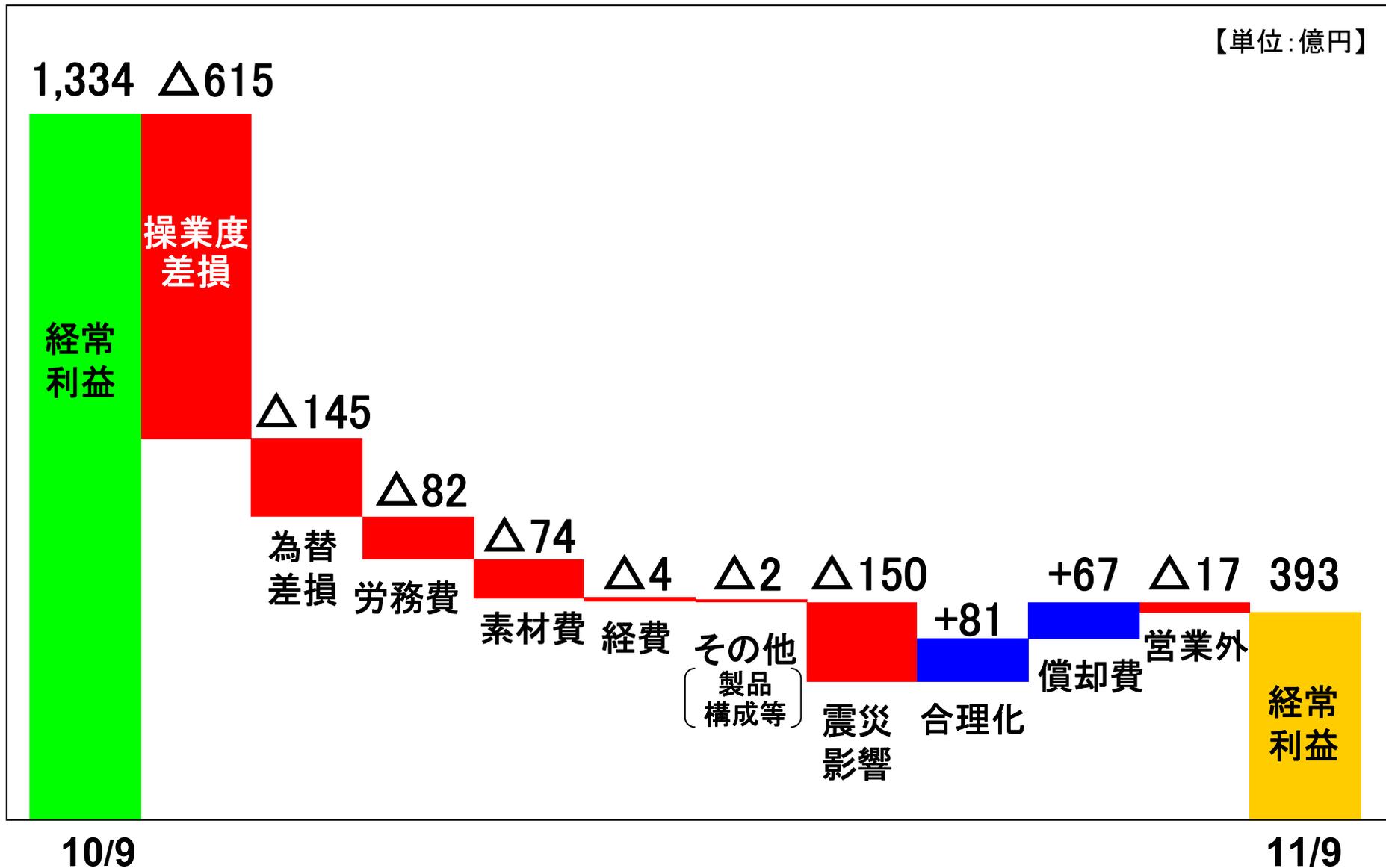
製品別

【単位：億円】



2012年3月期 第2四半期 経常利益増減要因(前年比)

【単位:億円】

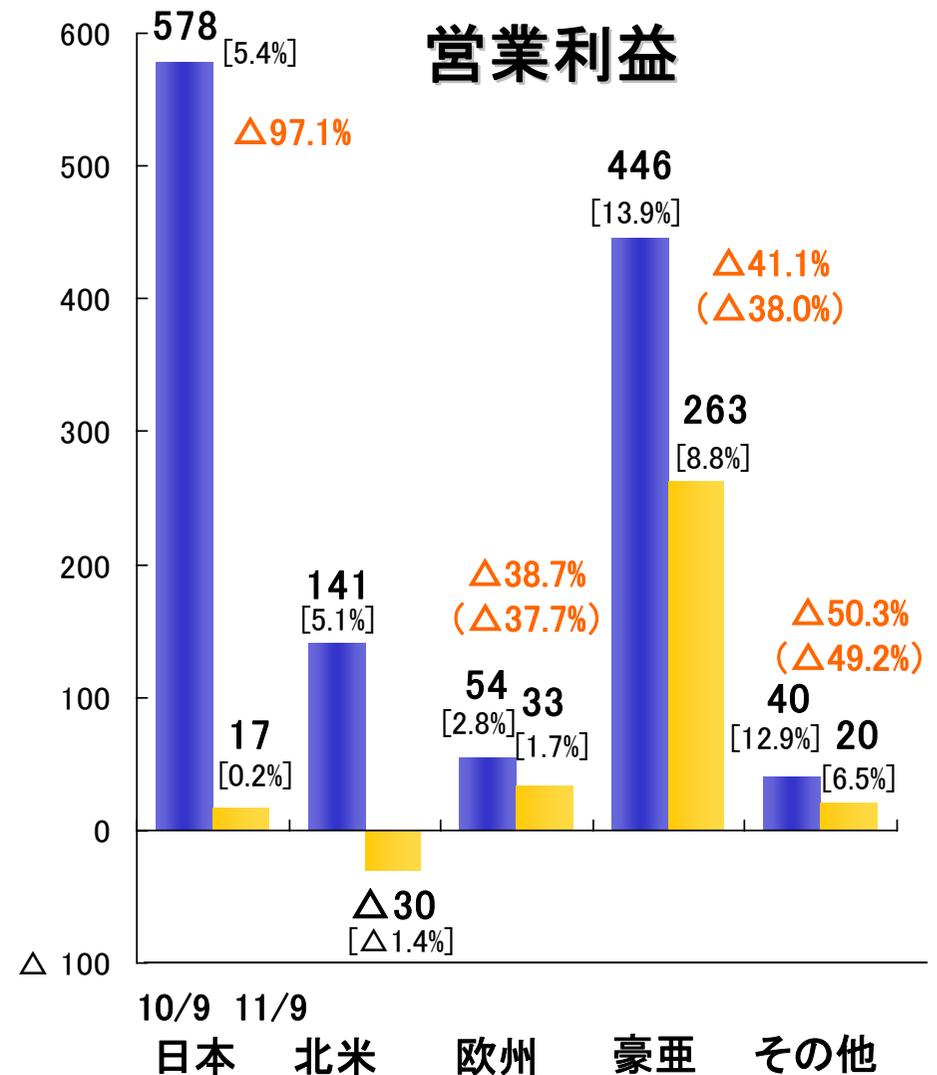
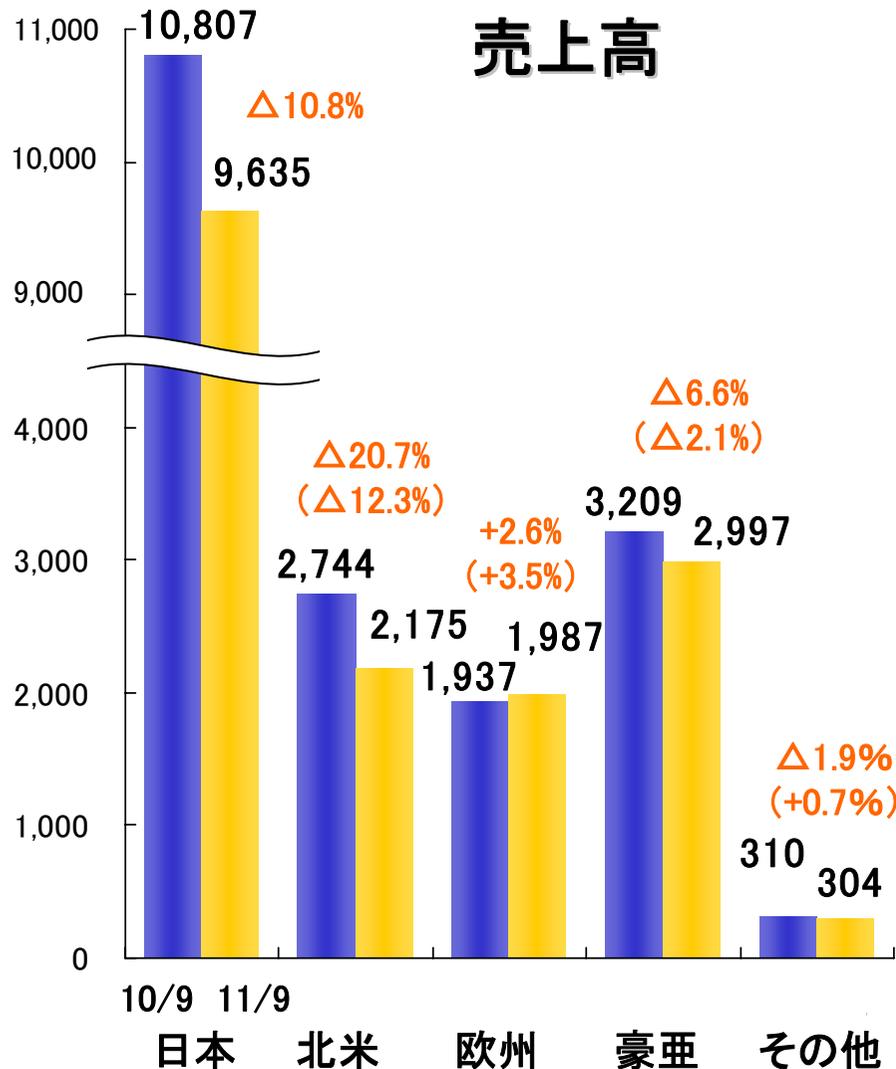


2012年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



2012年3月期 通期予想

07 / 25

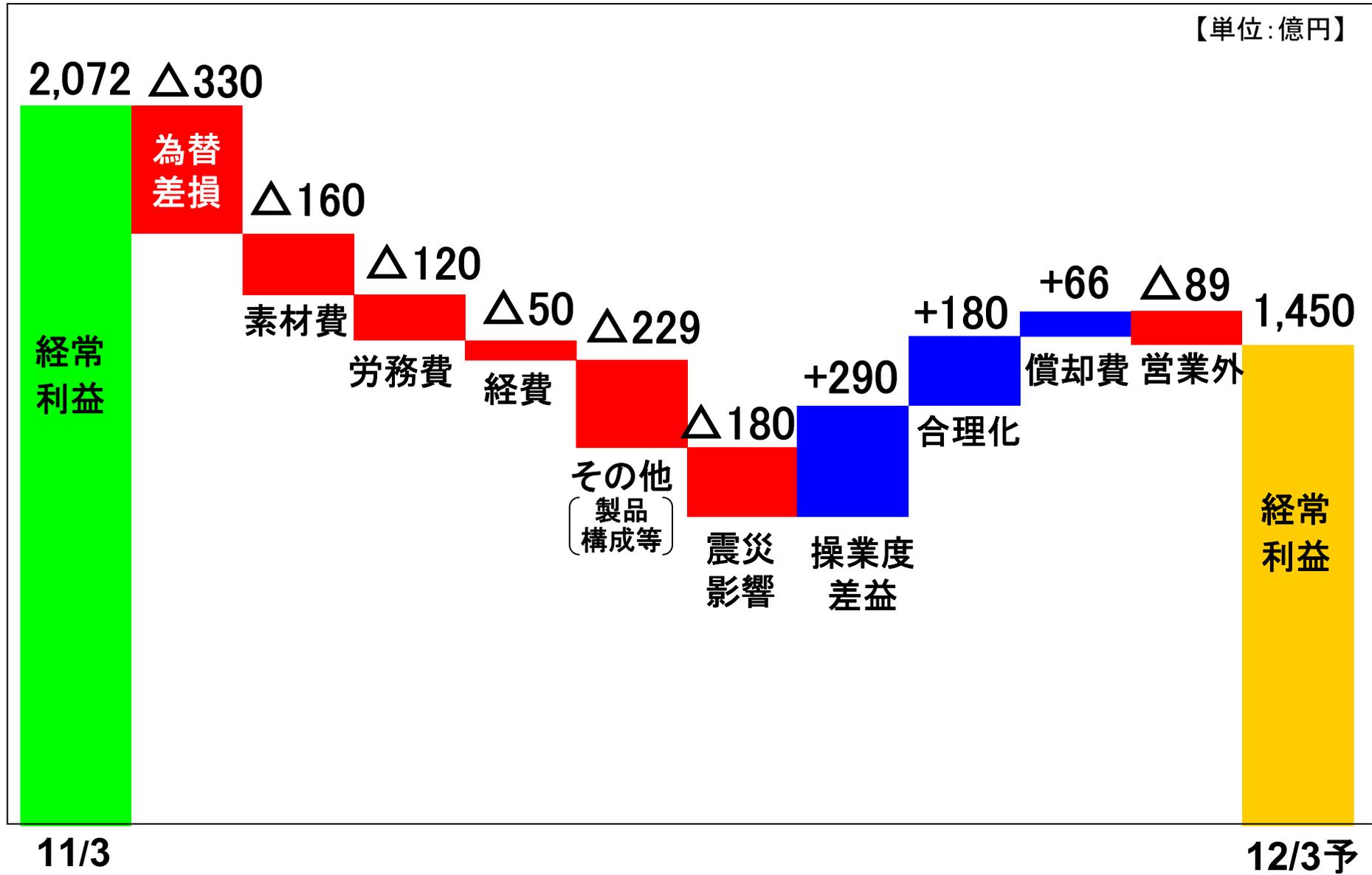
()内は売上高比

【単位:億円】

	1Q時予想	12/3期最新	11/3期実績	増減額	増減率
売上高	31,700	31,600	31,315	+ 285	+ 0.9%
営業利益	(4.3%) 1,350	(4.3%) 1,350	(6.0%) 1,883	△ 533	△ 28.3%
経常利益	(4.6%) 1,450	(4.6%) 1,450	(6.6%) 2,072	△ 622	△ 30.0%
税引前利益	(4.6%) 1,450	(4.6%) 1,450	(6.8%) 2,117	△ 667	△ 31.5%
当期純利益	(3.1%) 980	(3.1%) 980	(4.6%) 1,430	△ 451	△ 31.5%
為替レート	81円/ドル 113円/ユーロ	79円/ドル 110円/ユーロ	86円/ドル 113円/ユーロ	7円 円高 3円 円高	
国内車両生産	925万台	935万台	899万台	+36万台	+4.0%
海外日系車生産 (内、北米)	1,426万台 (394万台)	1,519万台 (390万台)	1,345万台 (396万台)	+174万台 (△ 6万台)	+12.9% (△1.5%)

2012年3月期 通期予想 経常利益増減要因(前年比)

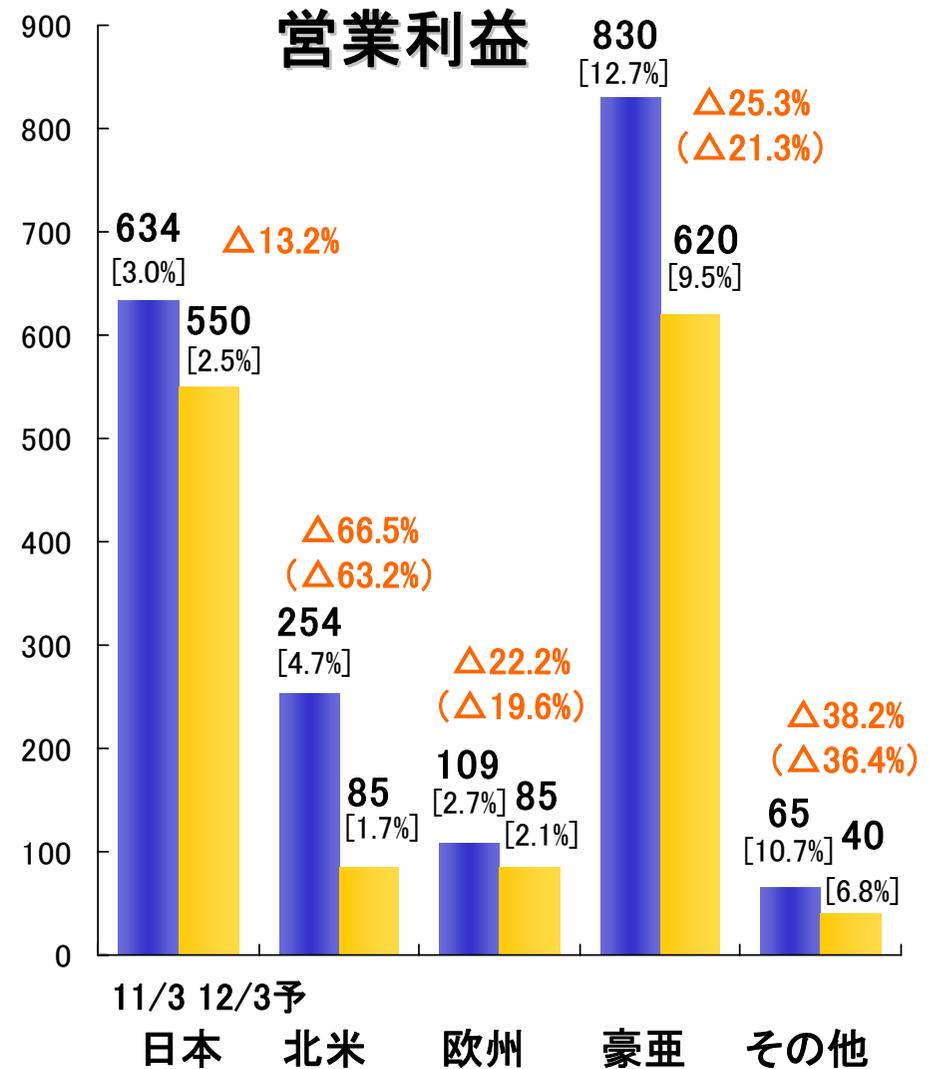
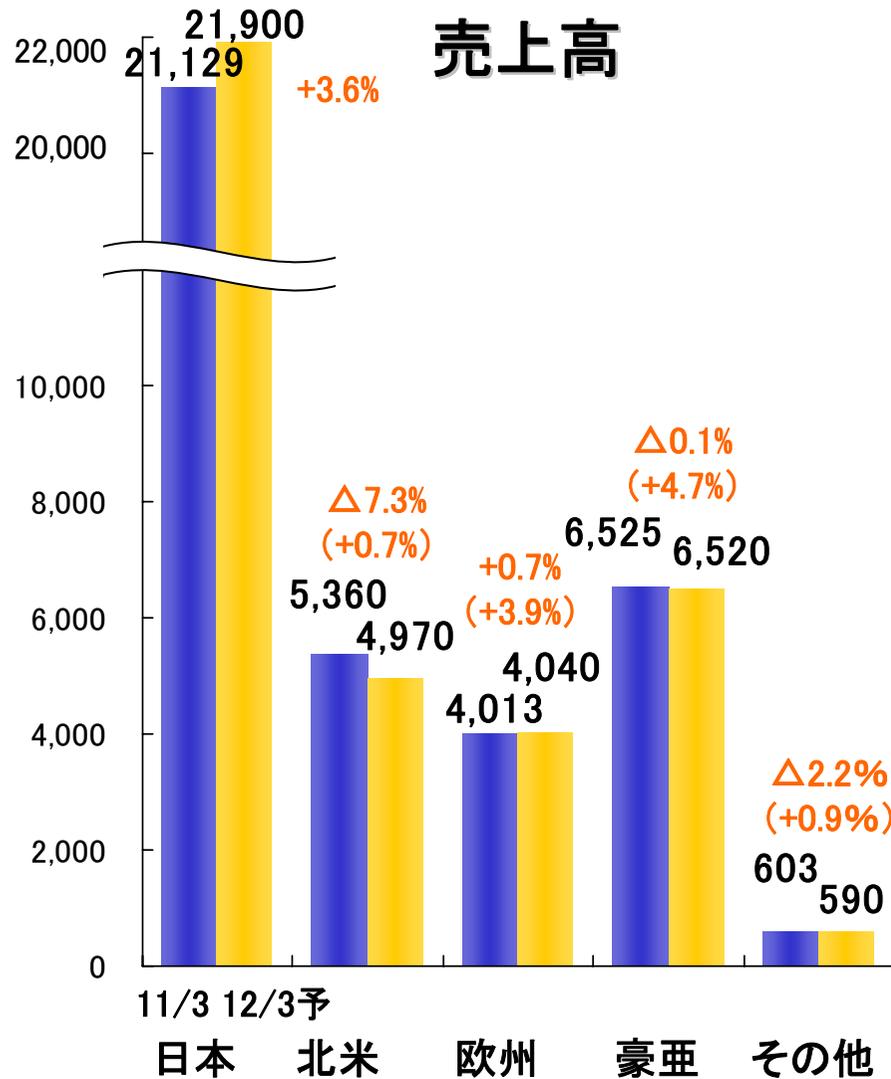
【単位：億円】



2012年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位：億円】 ※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



中期 収益改善の取り組み

「次の成長に向けた取り組み」

事業

- 燃費改善・CO2削減に向けた技術革新
- 世界各地域の競争力強化

コスト

- 低コスト化技術の確立
- 付加価値の向上

マネジメント

- 地域自立によるマネジメント強化
- チャレンジする風土の醸成

燃費改善・CO2削減に向けた技術革新

小型化

低燃費の小型車
部品の小型軽量化

電動化

ハイブリッド・電気自動車

システム化

システム間連携による省燃費

➤ 内燃機関エンジンの高効率化

・直噴・コモンレール

事例

➤ アイドルストップシステムの対応

・スタータの始動性/耐久性向上

事例

➤ ハイブリッド車製品の小型/軽量化

・小型軽量インバータの開発

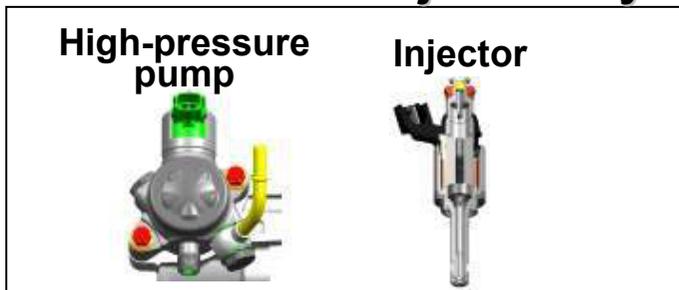
事例

➤ 車全体のエネルギーマネジメント

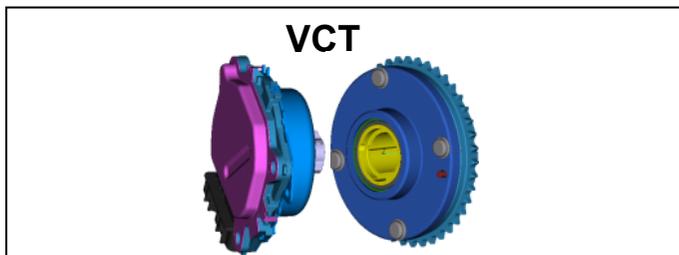
・熱・電カマネジメント

(1) 内燃機関エンジンの高効率化～直噴

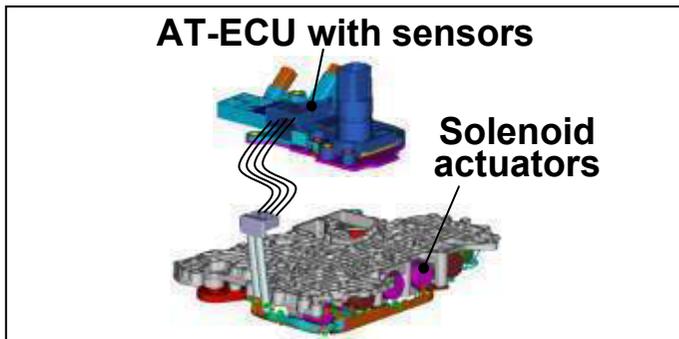
DENSO's Direct Injection System (Third Generation)



DENSO's Electric VCT



DENSO's AT module



Mazda's New-Generation Technology

SKYACTIV-G

New Direct Injection Engine

マツダ
SKYACTIVE
低燃費
ガソリンエンジン

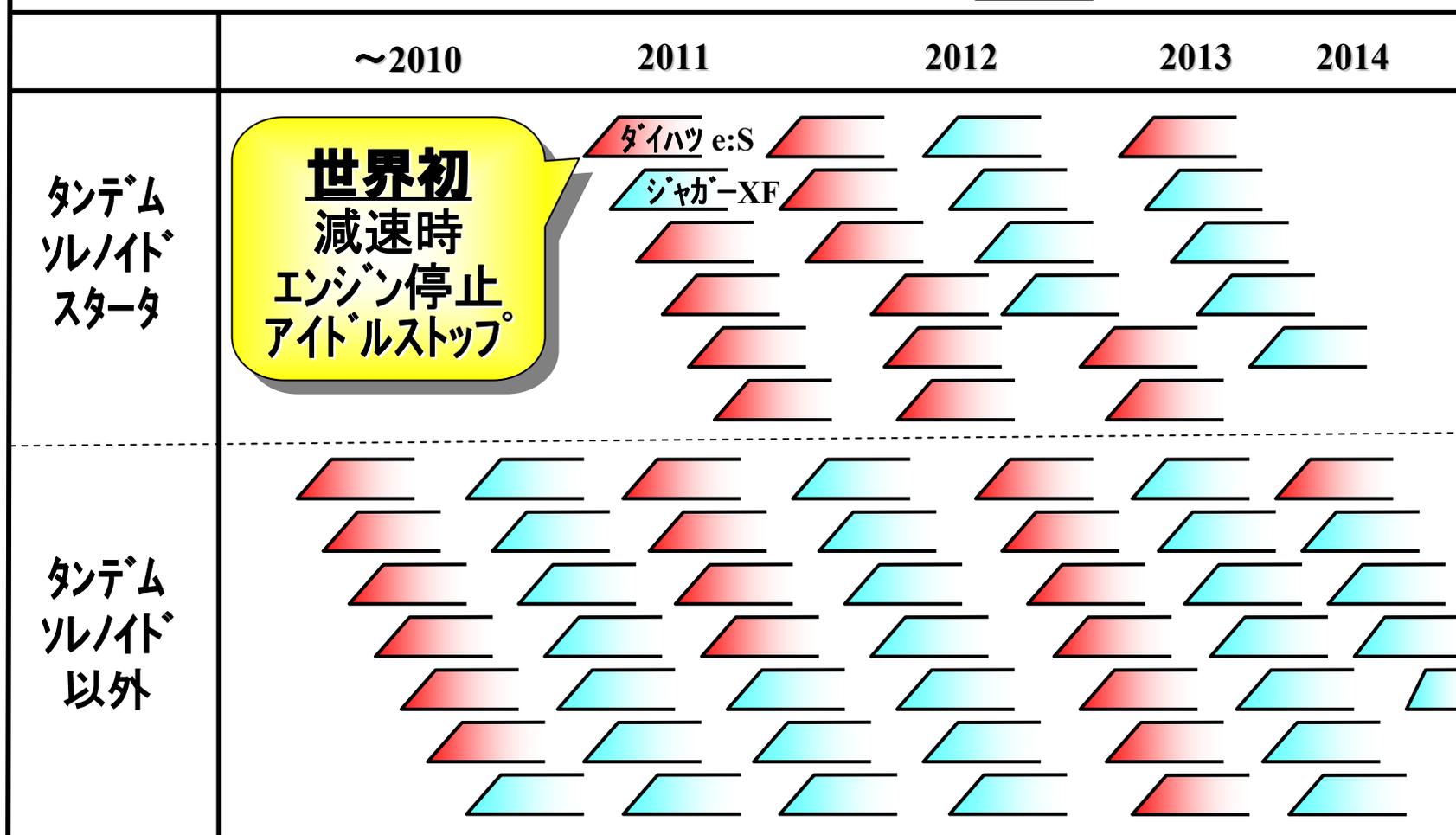
SKYACTIV-Drive

New Transmission

中期 収益改善の取り組み

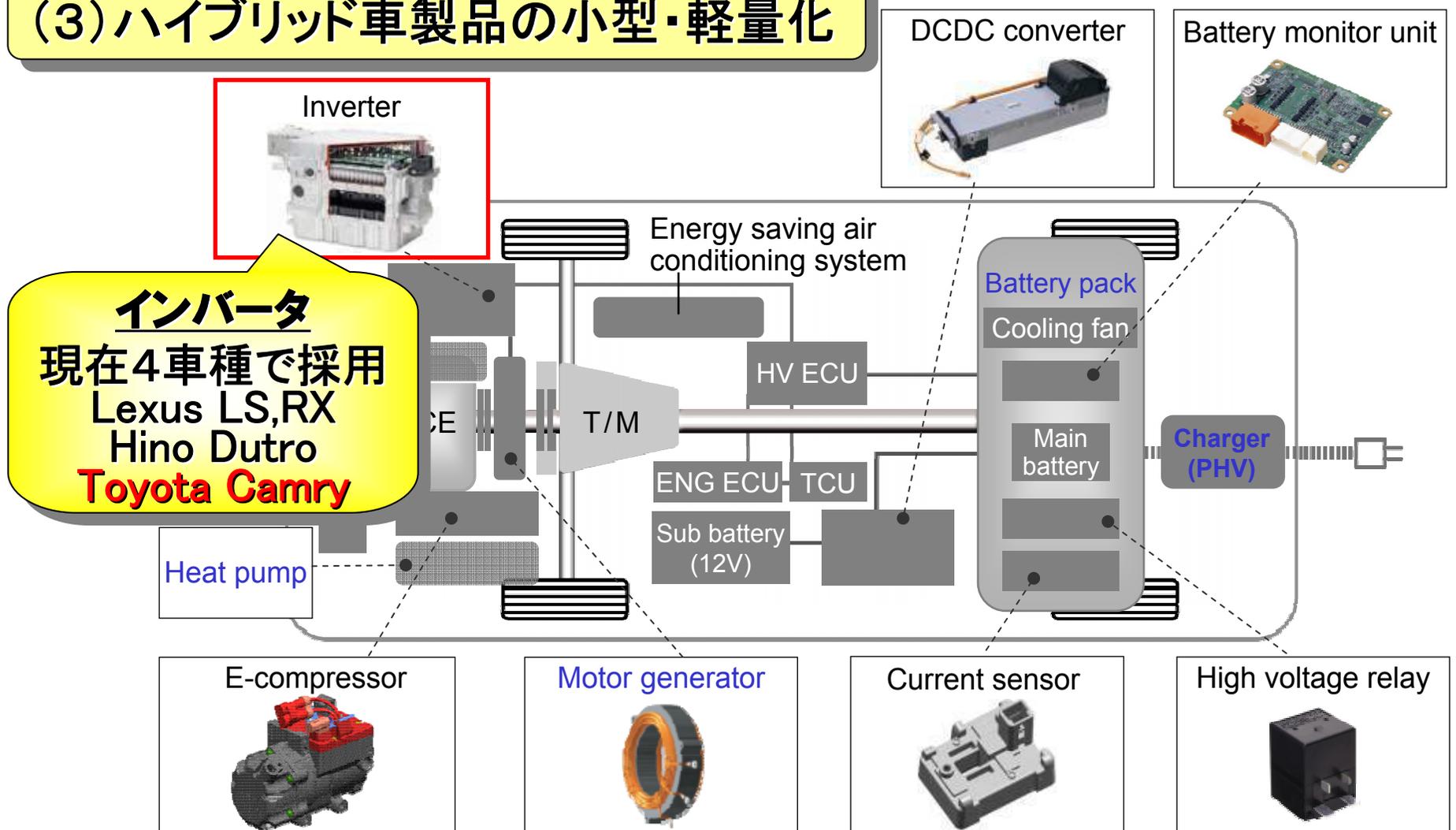
(2) アイドルストップ用スタータの採用状況

▤ 日系顧客
▤ 海外顧客
 表示は車種ごと



海外顧客含め23社、70車種へ採用

(3) ハイブリッド車製品の小型・軽量化



Products highlighted in blue: under development

低コスト化技術の確立

製品開発における考え方

設計から生産までを抜本的に見直し
「低コスト化技術」を新たな技術分野として確立

コストハーフの取り組み

①最適機能	②最適品質	③最適生産	④現地化推進
ユーザー調査、競合調査により、機能・性能を絞り込み	市場要求を満たす品質/性能に緩和	現地工程に適した作りやすい構造	素材、型、設備の現地調達 既存設備の有効活用

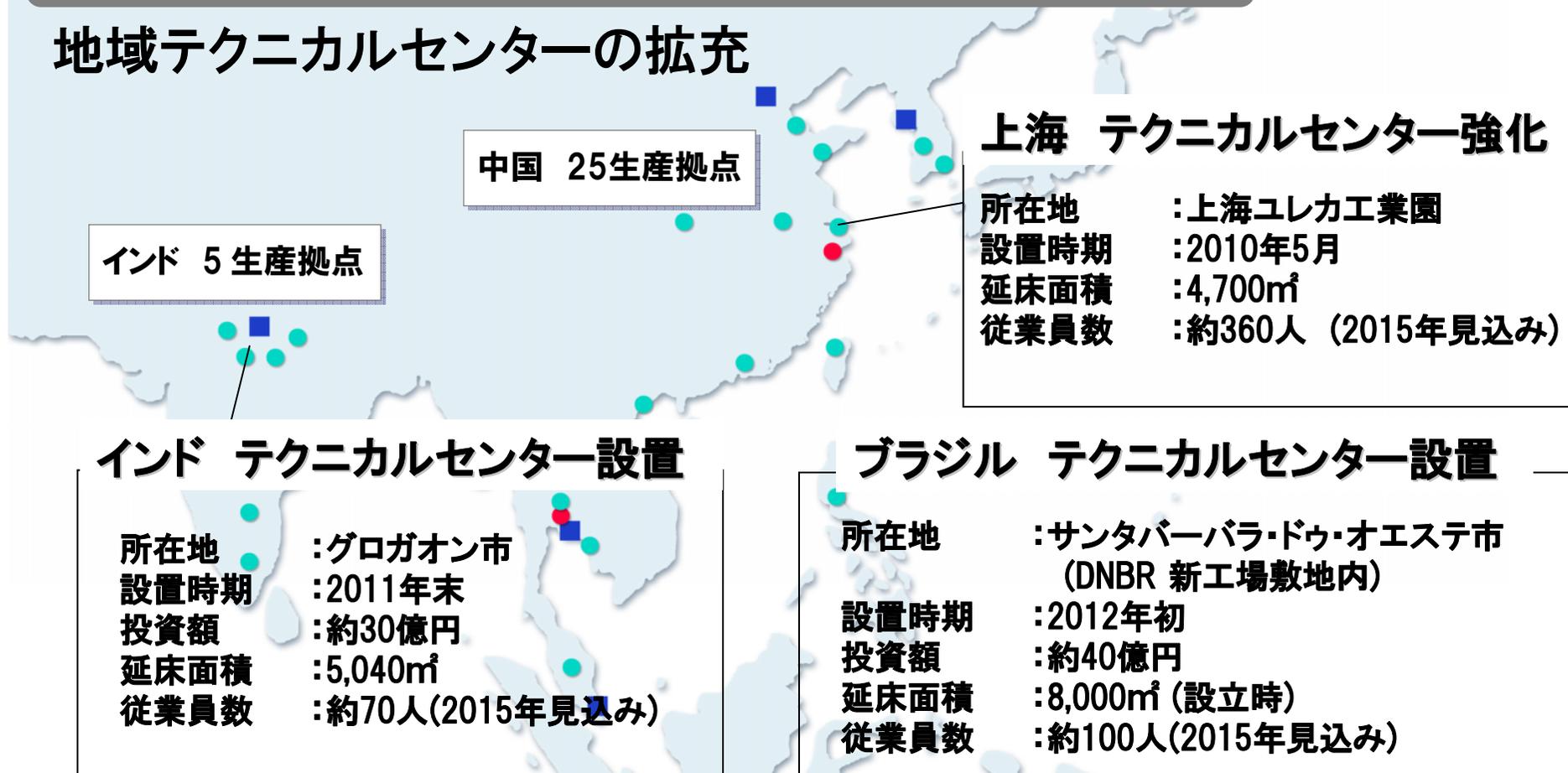
製品技術での差別化により、収益力を向上

コストハーフ対象製品(全23製品)

事業グループ	製品名	事業グループ	製品名
パワトレG	インジェクタ	熱G	カーエアコンシステム
	コイル		コンプレッサ
	O2センサ		ラジエータ
	電子スロットル		電動ファン
	フューエルポンプモジュール	電子G	エンジンECU
	VCT・OCV	アスモ	ワイパ
	サプライポンプ		パワーウインドモータ
電気G	オルタネータ	トヨタ紡織	エアクリーナ
	スタータ		オイルフィルタ
情報安全G	メータ	アンデン	リレー
	ナビゲーションシステム	浜名湖電装	ホーン
	エアバックECU・センサ		

各地域の競争力強化 (1)新興国での事業拡大

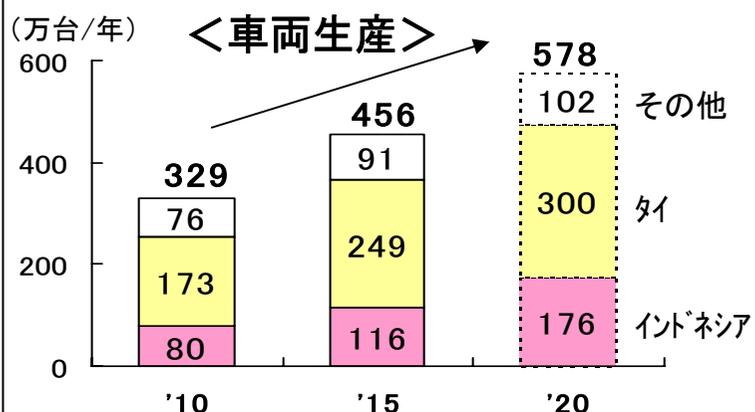
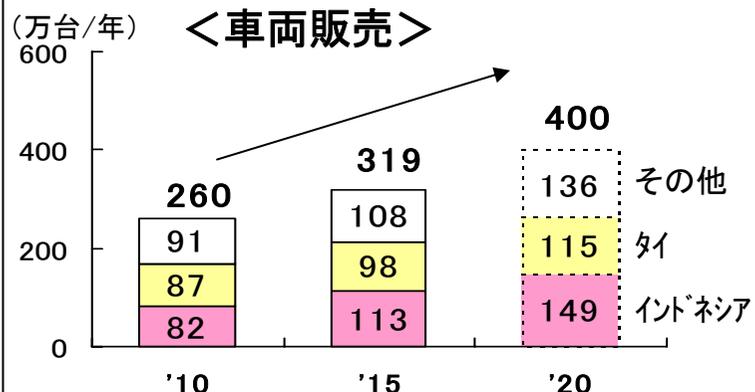
地域テクニカルセンターの拡充



2012年度までに開発・設計体制の現地完結を目指し推進中

インドネシア事業拡大

【アセアン市場の動向】



- ・特定国(タイ・インドネシア)で需要拡大
- ・タイは内需+輸出基地、インドネシアは内需中心

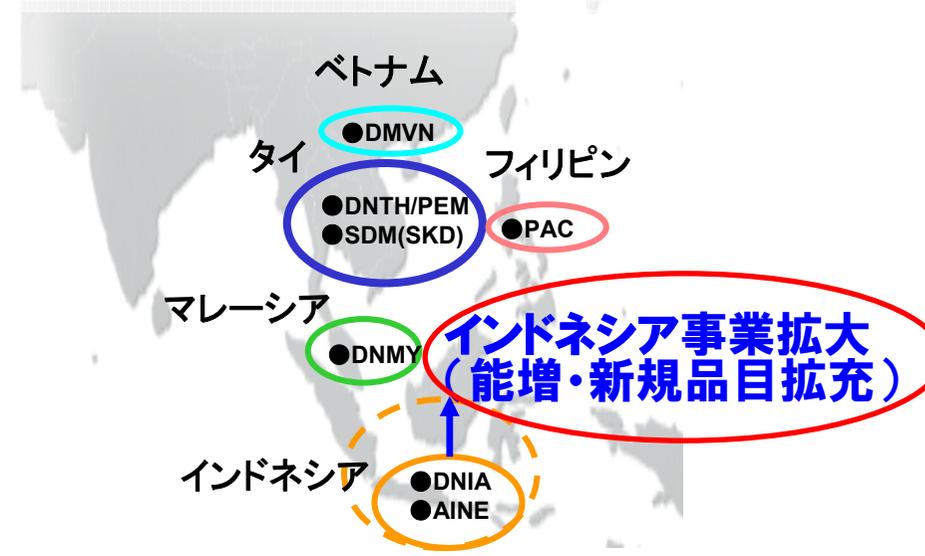
【アセアン拡販・現調戦略】

需要増、顧客の現地生産要請踏まえ、タイ・インドネシアを中心に供給体制の再構築をはかり、拡販推進

供給体制: ・各国での集中生産による相互補完体制
 ・最も需要のあるタイが中心(タイ1極)



・需要急増するインドネシアの生産品目拡充
 → タイ・インドネシアの2大拠点化



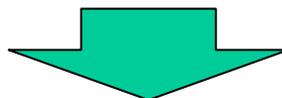
各地域の競争力強化 (2) 日本のモノづくり強化

世界に供給し続けられる競争力

◇新たな高付加価値製品を短期で開発しグローバルに発信し続ける

輸入圧力に負けない競争力

◇高度な先端生産技術を開発し、国内に展開する



一歩先の高度な技術を国内で開発し続ける

サプライチェーン全域の競争力を向上する

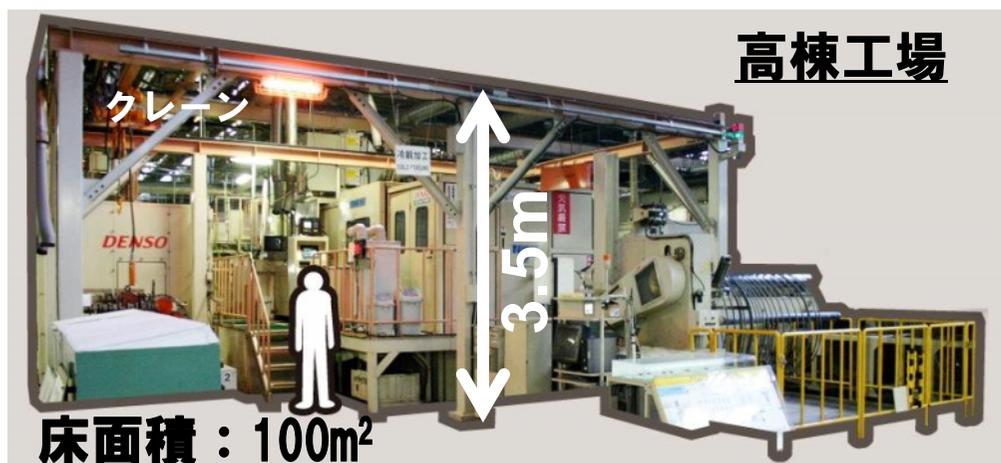
日本で生き残るダントツの工場づくり

ダントツの工場づくり

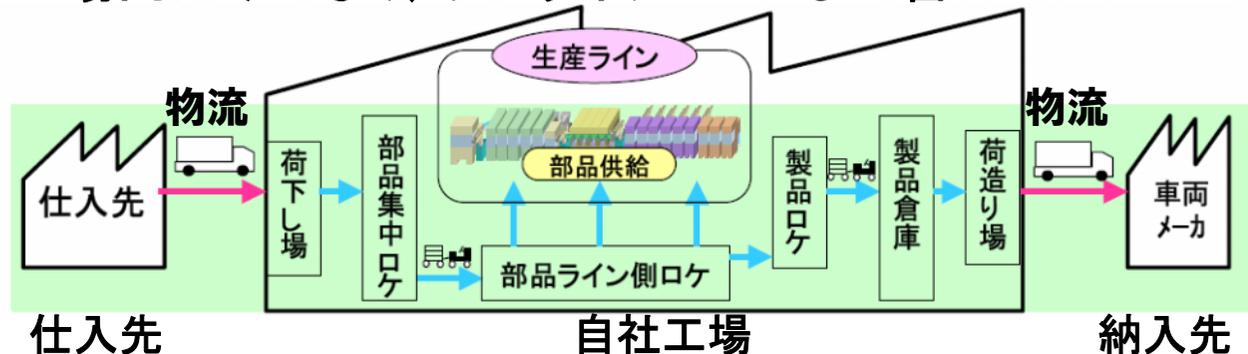
◇低コスト小型設備(1/n設備)を開発し、生産性を向上

従来機 200トンの大型鍛造機

開発機 30トンの小型鍛造機



◇工場内だけでなく、サプライチェーンまで含めてスルーで改善



- ・調達・納入物流改善
- ・仕入先への技術展開

05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

基本理念

デンソー基本理念

長期経営方針

DENSO VISION 2015

20年長期構想

中長期戦略
・活動施策

10年長期構想

3ヶ年
計画

15年中期計画

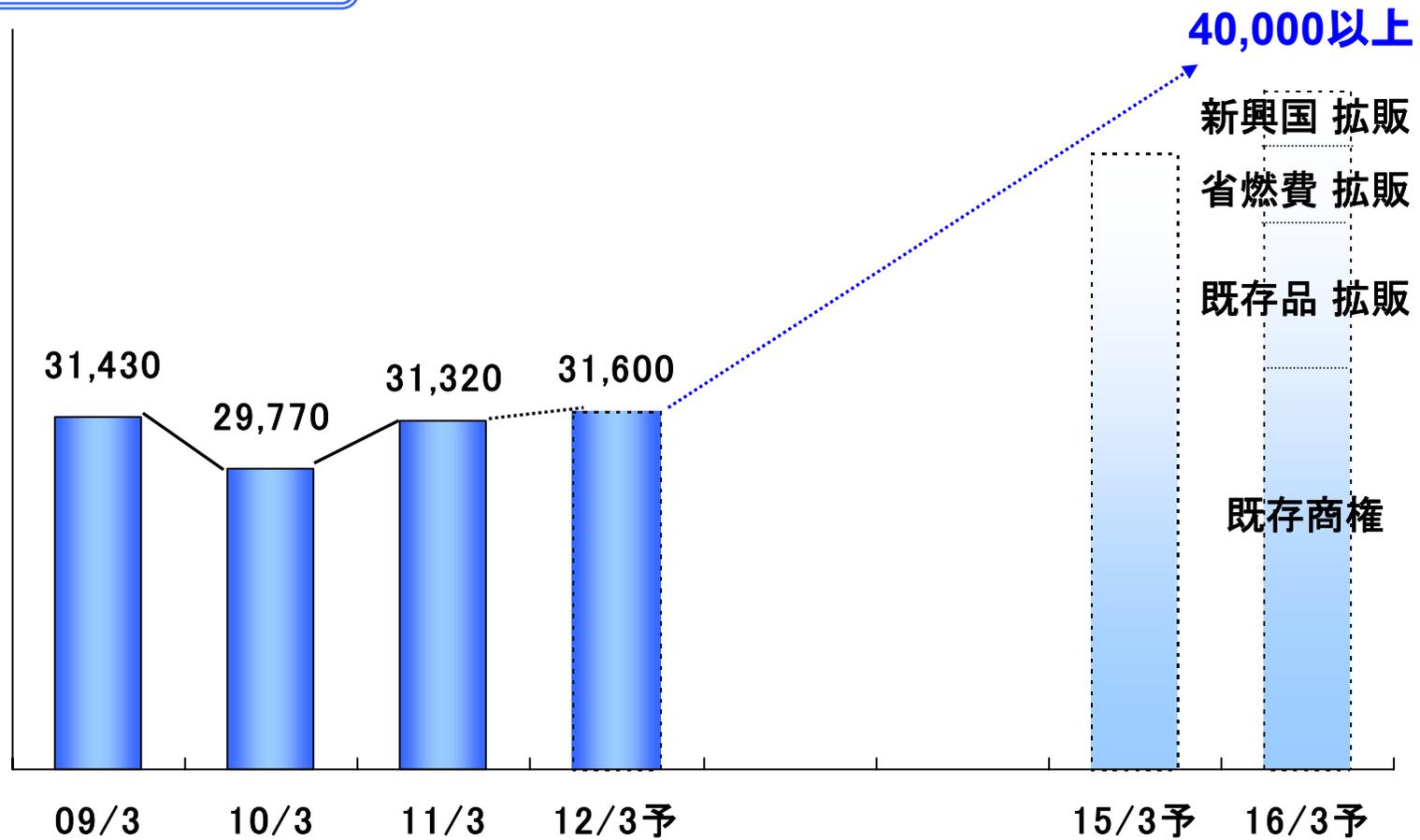
20年中期計画

新たな中長期の事業計画に着手済み

2016年3月期までに売上4兆円以上を目指す

売上高の推移

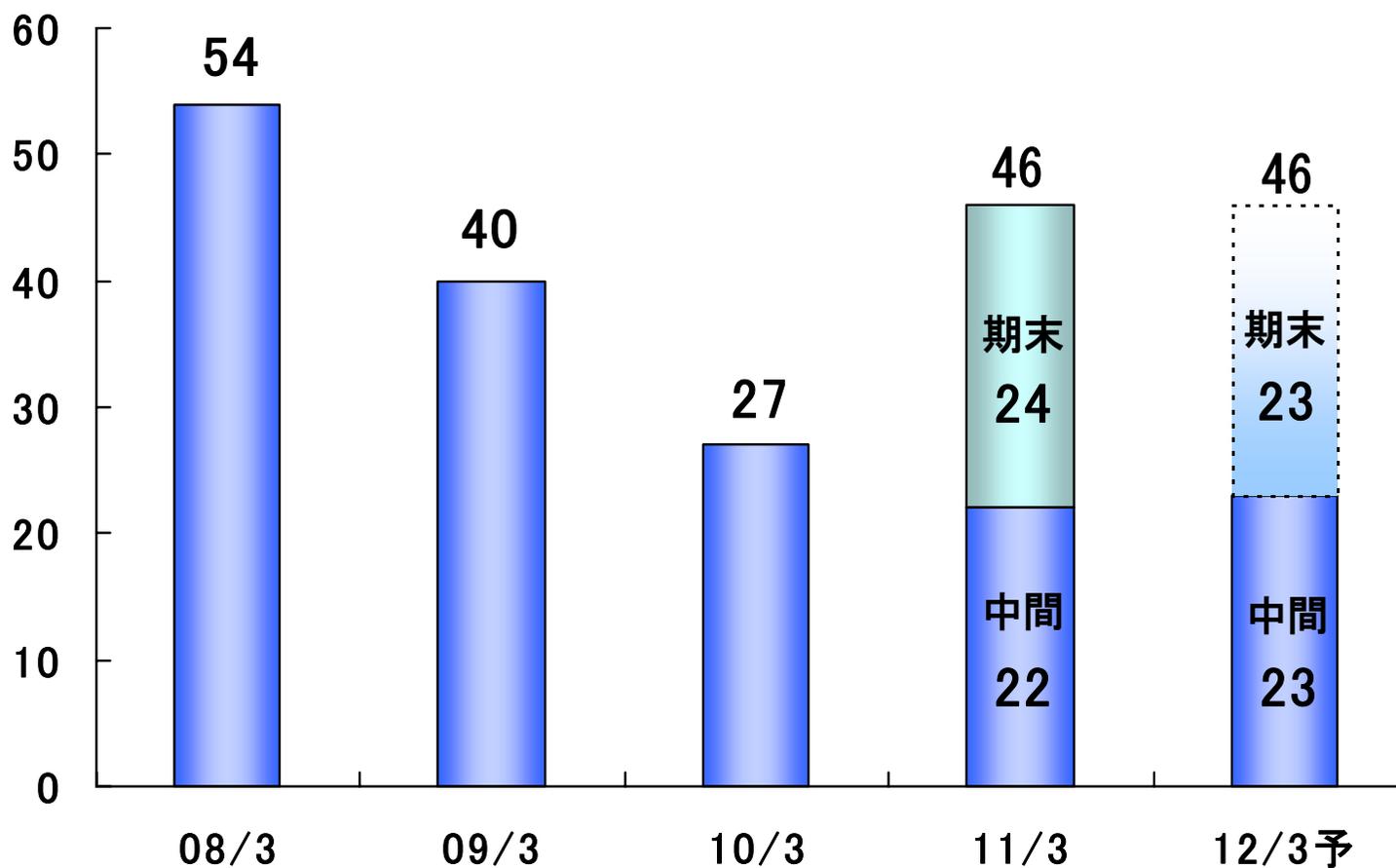
(億円)



中間配当：1株につき23円、年間配当：46円予定

配当の推移

(円/株)



DENSO

- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上
- 設備投資・償却費・研究開発費

単独決算概要

損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	11/9期実績		10/9期実績		前年比		12/3期予想		前年比			
					増減額	増減率	11/6時予想	最新予想	増減額	増減率		
売上高	(100.0)	8,860	(100.0)	9,975	△ 1,115	△11.2	(100.0)	19,900	(100.0)	20,200	743	3.8
売上原価	(93.7)	8,298	(89.0)	8,878	△ 579							
販売費及び一般管理費	(6.7)	596	(6.8)	683	△ 87							
営業利益	(△ 0.4)	△ 34	(4.2)	414	△ 448	-	(1.3)	250	(1.4)	290	△ 68	△19.0
営業外収支		407		367	40			500		540	△ 25	
経常利益	(4.2)	373	(7.8)	781	△ 408	△52.3	(3.8)	750	(4.1)	830	△ 94	△10.1
特別損益		△ 0		△ 0	△ 0			△ 0		△ 0	0	
税引前当期純利益	(4.2)	373	(7.8)	781	△ 409	△52.3	(3.8)	750	(4.1)	830	△ 93	△10.1
当期純利益	(4.2)	372	(5.8)	578	△ 206	△35.7	(3.3)	660	(3.6)	720	△ 8	△1.1

前提となる為替レート／車両生産台数

		12/3通期														
		上期					下期									
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
為替レート (円)	USD	89	81	81	80	9円 円高	83	80	80	77	6円 円高	86	81	81	79	7円 円高
	EUR	114	116	116	114	0円 円高	112	110	110	105	7円 円高	113	113	113	110	3円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											30	—	29	27	△ 3
	EUR											7	—	8	7	0
車両生産台数 (万台)	国内	478	—	381	391	△ 18%	421	—	544	544	+29%	899	—	925	935	+4%
	北米	194	—	154	154	△ 21%	202	—	240	236	+17%	396	—	394	390	△ 2%
	海外日系車	642	—	618	669	+4%	704	—	807	850	+21%	1,345	—	1,426	1,519	+13%

得意先別売上

【単位:億円, %】

区分	11/9期実績		10/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	5,749	40.8	7,310	46.0	△ 1,561	△ 21.4
ダイハツ	408	2.9	455	2.8	△ 48	△ 10.5
日野自動車	213	1.5	191	1.2	23	11.9
トヨタグループ計	6,370	45.2	7,956	50.0	△ 1,586	△ 19.9
本田技研	821	5.8	1,096	6.9	△ 276	△ 25.2
スズキ	371	2.6	413	2.6	△ 42	△ 10.3
富士重工	220	1.6	298	1.9	△ 77	△ 26.0
マツダ	253	1.8	298	1.9	△ 45	△ 15.2
三菱自動車	234	1.7	216	1.4	18	8.5
いすゞ	214	1.5	208	1.3	6	2.7
日産自動車	159	1.1	147	0.9	12	7.9
G M	421	3.0	496	3.1	△ 75	△ 15.2
フォード	330	2.4	290	1.8	40	13.7
クライスラー	257	1.8	251	1.6	5	2.2
V W ・ A U D I	303	2.2	234	1.5	69	29.7
ベンツ	105	0.7	95	0.6	9	10.0
B M W	149	1.1	126	0.8	23	18.1
フィアット	429	3.0	434	2.7	△ 4	△ 1.0
P S A	82	0.6	79	0.5	3	3.9
ランドローバー	74	0.6	89	0.6	△ 15	△ 16.7
現代・起亜	371	2.6	339	2.1	32	9.5
その他メーカー	1,231	8.7	1,169	7.4	62	5.3
O E M 計	12,394	88.0	14,234	89.6	△ 1,841	△ 12.9
※1 市販・新事業他	1,698	12.0	1,662	10.4	36	2.2
合計	14,091	100.0	15,896	100.0	△ 1,804	△ 11.4

※1 OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

製品別売上

【単位：億円，%】

区 分	11/9期実績		10/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
熱 機 器	4,335	30.8	4,896	30.8	△ 561	△ 11.5
ハ ° ワ ト レ イ ン 機 器	3,651	25.9	3,832	24.1	△ 181	△ 4.7
情 報 安 全	2,159	15.3	2,740	17.2	△ 581	△ 21.2
電 気 機 器	1,283	9.1	1,364	8.6	△ 81	△ 5.9
電 子 機 器	1,237	8.8	1,461	9.2	△ 223	△ 15.3
モ - タ	986	7.0	1,189	7.5	△ 203	△ 17.1
そ の 他 (※ 2)	165	1.2	162	1.0	3	2.1
自 動 車 分 野 計	13,816	98.1	15,643	98.4	△ 1,827	△ 11.7
産 業 機 器 ・ 生 活 関 連 機 器	228	1.6	207	1.3	21	10.2
そ の 他 (※ 3)	47	0.3	46	0.3	1	2.6
新 事 業 分 野 計	275	1.9	253	1.6	22	8.8
合 計	14,091	100.0	15,896	100.0	△ 1,804	△ 11.4

※2 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

※3 ディスプレイ等

設備投資・償却費・研究開発費

【単位：億円】

		11/3期		12/3期		11/9期	
		10/9期	実績	11/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	465	955	489	950	5.2%	51.5%
	北米	42	91	46	110	9.5%	41.8%
	欧州	47	121	88	190	87.2%	46.3%
	豪亜	111	228	199	450	79.3%	44.2%
	その他	33	55	34	70	3.0%	48.6%
	合計	698	1,451	856	1,770	22.6%	48.4%
償却費	日本	657	1,422	611	1,320	△7.0%	46.3%
	北米	90	171	78	170	△13.3%	45.9%
	欧州	64	124	59	140	△7.8%	42.1%
	豪亜	100	194	96	210	△4.0%	45.7%
	その他	10	20	10	25	0.0%	40.0%
	合計	921	1,931	854	1,865	△7.3%	45.8%
研究開発費 (売上高比)		1,411 (8.9%)	2,901 (9.3%)	1,480 (10.5%)	2,850 (9.0%)	4.9%	51.9%